

主催プログラムのごあんない

東山荘100周年！

●のんびり楽しく富士山登頂●

日程 8月27日(木)～30日(日)

3泊4日

対象 目安として小学1年生以上(年齢に上限はありません)未就学児もお問い合わせ下さい。

参加費 中学生以上31,000円

小学生以下29,000円

内容 一生に一度だけでもいつかは日本一の頂に立つてみたい！そんな願いを叶えるお手伝いをします。

丁寧で楽しいガイドンスで、富士登山へのワクワクを高め、疲れずラクな歩き方で、一歩一歩頂上を目指します。

この夏、富士登山の旅をご一緒しませんか？(担当 白鳥)

※富士登山プログラムは既に募集を開始しています。定員になり次第募集を締め切ります。悪しからずご了承ください。



日本最高所・富士山頂剣ヶ峰への急登も整然と。



ぎゅう詰めの中小屋時間も、和気藹々と楽しく平和そのものです。



山頂火口をバックに記念撮影。向こうには日本最高所・剣ヶ峰が見えています。



新しい1日の始まり。空の色の移り変わりを息を詰めて見つめます。

●初秋の子ども自然キャンプ●

日程 9月19日(土)～23日

(水・祝)

4泊5日

対象 小学1年生～6年生の男参加費 24,000円

内容 「躍動の5日間」

と銘打って、富士山でも東山荘でも、昼も夜も、目一杯みっちり遊びます。富士山ではふたつの谷を巡る秘境の旅知られざる噴火口探索、まるで宇宙遊泳のような星空のふじさんぽ等。東山荘ではみんなが大好きなBSSの他、野

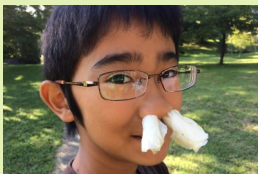
外炊爨ではカレー&焼きそばも作ります！

子ども達は大人が思う以上に逞しく、体力も気力も驚くほど回復が早いものです。

体も心も丸ごとで遊び尽くす5日間は、きっと子ども達を励ます大事な栄養になります。

今回は久しぶりに6号館とロッジに宿泊します(布団使用)。

盛りだくさんのプログラムをどうぞお楽しみに。(担当 白鳥)



↑ムクゲの花で鼻血プー



↑徹底的に濡れたら笑うしかない！



↑どんなに面白いのか、やってごらん！



↑手足をいっぱい伸ばして豪快に砂走り！！

走って転がって、砂まみれで笑い合う仲間→



↑富士山そっくり♪石のペンダント

材料費 300円～500円
ごあんない 夏休み期間恒例となりました「クラフト教室」を今年も開催します。
自然素材を使った創作アート富士山そっくり石のペンダント、人気のプラ板アクセやUVレジンアクセなど、人気のクラフトを用意します。
お子さんも大人も一緒に楽しめます。夏休みの1日をご家庭皆さんで楽しみませんか？(担当 佐久間)

●夏休みクラフト教室●

日程 7月19日～8月24日

毎日 9時半～16時

(受付15時まで)

お申し込み・お問い合わせ

資料のご請求は…

日本YMCA同盟 東山荘
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052
TEL 0550-83-1133
FAX 0550-83-1138
E-mail: tozanso@ymcajapan.org
HP http://www.ymcajapan.org/tozanso/

プログラム通信

春の子ども自然キャンプ

5月2日～6日

新学期が始まって間もない5月初旬の大型連休は、きつとキャンプに来る子どもも少ないだろうと思いきや、蓋を開けたら最大で64名の仲間が東山荘に集いました。

プログラムはBSSあり、ふじさんぽあり、パーティーありと朝から晩まで盛りだくさん。

一日一日、一瞬一瞬が濃密で、子ども達もリーダー達も全身全霊で遊んだ時間でした。

ある日は、いくつもダムを乗り越えて奥深い滝を目指し、こんこんと湧き出る清水をいただきました。そしてその夜には体育館で「ハイパーメガ双六大会」で大暴れ。電池切れになってもちよっと休めばすぐ充電できる子ども達の底力を感じました。

富士山麓の大草原でわらび採りに興じたのも楽しい思い出です。摘みたてのわらびを木灰であく抜きして、少しずつお土産に持ち帰りました。

この春の5日間が、宝物に育つことを願っています。



洞窟探検にも出かけました。自分の手指も分らない程の真つ暗闇！(左)



初めてのわらび採り。徐々に目が慣れて、探すのも摘むのも上手になりました。(右)

ふわふわと足元がおぼつかない、まるで宇宙遊泳のような「夜のふじさんぽ」。子ども達は昼も夜も全力です。(左)



←湧水をグイッと一杯。湧水毎の味の違いも話題に。



大きなモリアオガエルも『か〜わい〜』と大人気でした(上)



◎第5回支援者のための心のリフレッシュプログラム◎

6月5日～7日

日本NPOセンターと協働して、「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」とJCC CNC(北カリフォルニア日本文化コミュニケーションセンター)から資金を得て実施しました。

東北の地で、震災復興、地域支援活動に従事しているNGO団体のスタッフなどは、心身を消耗し倒れる人も多く出ています。心理カウンセラーの先生に入っただき、富士山の自然の中で思いっきりリフレッシュしながら、一人一人の心と体のリフレッシュ、回復のきっかけになればと始めました。

最高癒しの富士山で昼寝

今回はこのプログラムに参加して初めて、自分の苦しみを専門家の方に相談できた方や、たまには日常から完全に離れてみるこの大切さに気づいたという話も聴かれました。富士山の中腹で昼寝したり、同じ思いの人と語りあったりできたようです。(担当 佐久間)



最高癒しの富士山で昼寝

富士山中腹で「雪渓尻すべり」。ここまで登ってこないといけない遊びをたっぷり味わいました。

東山花だより

(題字は元同盟委員長 故 北村徳太郎)

2015年

な夏っ



「エイッ！」寒沢で滝に打たれる (写真：小曾戸 恒夫)

解説はP4「さるのつぶやき」へ

夕陽の風 16 東山荘所長 堀口 廣司

中国のことわざ「前人種樹 後人乘涼」は「先に生まれた人が将来の人々のために木を植え、後世の人は前人の苦勞を忍び感謝し木陰を楽しむ」という意味だそうである。

東山荘が出来て4年目(大正8年)の写真をみると、内には灌木しかなく背後にわずかな杉林があるだけである。1号館のあるラウンドトップ(現夕陽の丘)は芝の山でヴォーリズ設計の旧本館からも富士山が見えたようだ。建設委員の新渡戸稲造(5,000円札で有名な)は東西を1つにした夏季学校予定地に先づ樹を植えることから始めた。

お隣の秩父宮様も夏季学校に度々お越しになりキリスト教や民主主義、人権擁護、社会正義の講演に耳を傾けたと聞く。軍国主義、ファシズムの時代が迫りかかるように到来し1944年と45年は東山荘での夏季学校は開催不能となり接収されるところまで追い詰められた。しかし、敗戦の翌年全国から79名の学生が食料を持ち、大混戦の列車を乗り継ぎ御殿場東山荘に新生日本を建設するために「今何をなすべきか」と集結した。戦後初の衆議員選挙で首相となった片山哲も夏季学校の政治国際問題の講師であり、吉野作造らが東山荘で語った大正デモクラシー・民本主義の理想は皮肉にも敗戦によって開花した。

戦争という暴力によって社会が混乱し参加者のある者は負傷し、ある者は異国の土となった。社会の変遷があろうとも、変わらぬ富士山を見上げる森は枝を高く張りすくすくと成長し空を目指して茂っていった。

先人の100年の森が冷涼な空気と香りを放ち人々は涼と暖も取り自然の力で癒され続けて今日に至る。今度はいよいよ私たちが、100年後の青年が生き生きと輝く未来のために大汗を流し木を植える「前人樹を植え後人涼をとる。」100年のバトンを托された時がきた。

さるのつぶやき

さるリーダーのつれづれ話

東山荘横を流れる寒沢(さぶさわ)の源流は1km程上流にあり、岩間から一年中涸れることなく13℃のおいしい水が湧き出しています。

夏は源流を訪ねるプログラムや、富士山登頂プログラムの途中で、沢の途中にある滝に打たれています。轟々と落ちる水の下の入ると、頭をグツと押さえつけられるような水圧と、全身の筋肉や心臓までもがギュッと収縮するような冷たさを感じます。しかし、やがて水圧も冷たさも気にならなくなり、全ての感覚が麻痺したような、思考や時間さえも止まってしまったような「真っ白」な状態になります。その後、水から上がると、何とも晴れ晴れとした気分、全身に力がみなぎり、身も心もスッキリと生まれ変わったように感じます。

こんな体験をしてみると、富士山を含む古来の山岳信仰や修験道等で滝に打たれていた人々の気持ちが少しだけ分かるような気がします。

ところで昨年の夏、滝に打たれた子が「今度は冬にやってみよう！」と言ったのには驚きました。こどもは無限の可能性を秘めています。

表紙写真 小曾戸 恒夫 富士山先生
つぶやき 白鳥 裕之

(ネイチャープログラム主任)



from the Secret Garden



野山に遊ぶ時、ひょっこり顔を出してくれる生き物はこども達の目を生き生きと輝かせます。

小さな手から手へと渡されたニホントカゲは、迷惑そうにしながらも大勢の視線を一身に浴び続けてくれました。

もちろん生き物が好きな子ばかりではなく、苦手な子もいます。けれども、誰かの『うわあ、かわいい！』という声に引かれて覗き込み、少しずつ距離を縮めて、ついには手を伸ばしてそっと触ったりもしています。

それまで知らなかったものの、身近でなかったものと出合ってみたら、案外怖くなかった。こども達の顔が雄弁に語ります。

こんな初めての出会いに遭遇する度、自然の中でよく耳にする3K汚い、怖い、気持ち悪いは、それまで本物に出会っていなかったから出るのだと感じます。

一度出会って親しくなると、大切にしようという気持ちも湧くようです。

最新情報はこちらをチェック！！

東山荘ホームページ
<http://www.ymcajapan.org/tozanso/>

東山荘フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/ymcatozanso>

東山荘ネイチャープログラム FB
<https://www.facebook.com/natureprogram>

季節の一品 ~厨房だより~

完熟トマトの冷製パスタ



●材料 (4人分)

完熟トマト	6個
バジルの葉	2枚
オリーブ油	100cc
にんにく微塵切	少々
塩胡椒	適量
マカロニ or カッペリーニ	240g

●作り方

- 1) トマトはサッと熱湯に入れて冷まし、皮を剥いたら横半分に切り、種を取ってサイコロ大に切っておく。
- 2) ①をボールに入れ、塩・胡椒で味を調えバジルの葉をちぎって入れ、オリーブ油を加えて混ぜる。トマトの水分とオリーブ油が馴染んだらOK!
- 3) マカロニ or カッペリーニを多少柔らか目に茹でて冷水で冷まし、水気をよく切る。
- 4) 器にパスタを盛り、①のソースをかける。

※カッペリーニは(髪の毛)という意味の極細パスタ。直径0.9mm位で冷製パスタに使用します。夏の食欲の無い時期にどうぞ！！



編集後記

雨の多いこの季節、どこにもなく湿っぽい顔をしたヒトと裏腹に、植物たちは生き生きと枝葉を伸ばし青々と繁っています。

たつぷりと水気を含んだ苔は柔らかな地表を覆って、森造りの第一歩を担ってくれています。色とりどり、形もさまざまなキノコ達が顔を覗かせる季節でもあります。

森へ出かけてみませんか？